

業者各位

八尾市総務部契約検査課

解体工事に配置する技術者（有資格者）の取扱いについて

条件付一般競争入札において、令和 3 年度より解体工事に配置する技術者（有資格者）に関する入札参加資格確認書類（事後審査書類）の取扱いを下記のとおりとします。なお、案件により求める条件が下記と異なる場合があります。また、市内業者にあつては、入札締切の日以前に本市の技術者事前登録制度により登録され 3 ヶ月以上経過しているものを配置する必要があります。

記

1. 監理技術者として配置する場合

資格者証の写し及び監理技術者資格者証の解体欄に「1」が記されているものの写しを提出すること。

2. 主任技術者として配置する場合

①平成 28 年度以降に技術検定に合格したもの、1 級とび・とび工技能士、又は解体工事施工技士を配置する場合

資格者証の写しを提出すること。

②平成 27 年度までに技術検定に合格したもの、技術士（建設部門、総合技術監理（建設））、又は 2 級とび・とび工技能士を配置する場合

2 級とび・とび工技能士以外のものは、資格者証の写し及び合格後の解体工事に関する実務経験 1 年以上の実務経験証明書又は登録解体工事講習修了証を提出すること。なお、監理技術者資格者証の解体欄に「1」が記されているものの写し、又は専任技術者証明書（建設業許可に係る様式第八号）で解体工事を担当することがわかるものの写し（資格区分がアルファベット表記のものは不可）でも代用可とする。

2 級とび・とび工技能士のものは、資格者証の写し及び合格後の解体工事に関する実務経験 3 年以上（平成 16 年 4 月 1 日時点で合格していたものは、実務経験 1 年以上）の実務経験証明書を提出すること。

注 1）技術検定は「1 級土木施工管理技士」「2 級土木施工管理技士（土木）」「1 級建築施工管理技士」「2 級建築施工管理技士（建築）」「2 級建築施工管理技士（躯体）」を指します。

注 2）実務経験は、1 年以上は経歴合計月数が 12 月以上、3 年以上は経歴合計月数が 36 月以上のことを言います。

実務経験証明書（有資格者）

（あて先）八尾市長

下記の者は、土木施工管理技士（平成27年度以前）、建築施工管理技士（同左）、技術士（建設部門、総合技術監理部門（建設））又は技能検定（2級とび・とび工）の試験に合格した後、解体工事に関し下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

（配置技術者） 氏名 ○○ ○○

生年月日 ○○年○○月○○日

1. 有する資格と試験合格年度

有する資格	試験合格年度
1級土木施工管理技士	平成25年度

※技術検定の「土木施工管理技士」又は「建築施工管理技士」、技術士試験の「建設部門」又は「総合技術監理部門」並びに技能検定の「2級とび・とび工」のいずれかの合格年度を記載すること。

2. 実務経験の内容等

使用者の 商号又は名称	職名	従事した工事名	従事期間	実務経験 月数
株○○○	現場監督	○○○○解体工事	平成27年○○月 ～○○○年○○月	3ヵ月
株○○○	現場監督	○○○○解体工事	平成28年○○月 ～○○○年○○月	4ヵ月
株△△△	現場作業員	○○○○解体工事	平成30年○○月 ～○○○年○○月	4ヵ月
株○○○○	現場監督	○○○○解体工事	令和元年○○月 ～○○○年○○月	2ヵ月
			年 月 ～ 年 月	ヵ月
			年 月 ～ 年 月	ヵ月
			合計 満 1年 1ヵ月	

※上記資格に合格した後の実務経験を記載し、「実務経験月数」の欄は、それぞれの工期（月）と重複しないこと。
※「合計 満 年 月」は、実務経験月数の合計を記載し、合計1年以上（2級とび・とび工は3年以上）にすること。

上記のとおり相違ありません。

○○年○○月○○日

所在地 大阪府○○市○○町○丁目○番○号
商号又は名称 株式会社○○○○
代表者職氏名 代表取締役 ○○ ○○

印